



CAPスペシャリスト養成講座

CAP 就学前プログラム講座

－生涯にわたっての土台・基礎を築くために

この講座の目的は、正しい知識とスキルを持ち、幼児期の子どもたちの力を信じ、プログラムの有効性を自信をもって伝えられる“幼児期における子どもへの暴力防止の専門家”である CAP スペシャリスト養成です。講座では、いくつかのアクティビティを行い、幼児期の子どもの発達への理解を深め、幼児期という生涯にわたっての土台・基礎づくりの時期だからこそ行う子どもへの暴力防止プログラムについて学びを深めます。理論だけでなく、子どもワークショップのグループ実習、トークタイム実習など実習を多く取り入れながら、フィードバックしあい、学び合う講座です。

今後も、就学前プログラムのニーズは高まることと思います。小学生プログラム実践にも活かします。子どもへの暴力のない社会の実現をめざして、幅広く活動していただけますよう多数の皆さんのご参加をお待ちしています。



日時：2025年10月4日(土)13時～18時(受付12時40分～)

※1日目はオンライン。

10月11日(土)10時30分～18時30分

10月12日(日)9時30分～17時30分

計3日間(21時間)

会場：いわみーる(島根県浜田市野原町1826番地1)

講師：CAPセンター・JAPAN プレトレーナー

定員：20名

参加条件：就学前プログラムの実践予定のあるCAPスペシャリスト

(グループに所属しCAPスペシャリスト活動認定証の発行をうけていることが必要です)

受講費用：26,600円 内訳：受講料24,000円、資料代1,500円、テキスト1,100円

※フォローアップ受講の場合は受講料10,000円

(受講には活動会員になることが必要です。活動会員費は3,000円です)



お申込みは「就学前プログラム講座2025申込フォーム」よりお申し込みください。受講基準にのっとり2025年8月中旬から、受講申込者に確定書をメールでお知らせいたします。講座概要もHPでダウンロードすることができます。

申込開始：2025年7月4日(金)

申込締切：2025年9月19日(金)

1日目 10月4日(土)13時～18時(受付12時40分～)

[目的] 幼児期における子どもへの暴力の実態を知り、神話に絡めとられることなく、事実を目を向けることの重要性を知る子どもの発達を理解する。
子どもの発達を理解する。
幼児期におけるCAPの取り組みの概要を知り、その有効性を確認する。

オープニング・ガイダンス

【講義1】幼児期におけるCAPの歴史とプログラムの紹介

【講義2】幼児期の子どもへの暴力の神話と事実

－幼児期の子どもへの暴力に対する脆弱さ－

(1)統計から見る幼児期の子どもへの暴力の実態

(2)幼児期の子どもたちが受けやすい暴力



(3) 幼児期の子どもに対する性的暴力

(4) なぜ報告されないのか

【講義 3】 幼児期の子どもの発達

(1) 幼児期の子どもの発達をなぜ学ぶのか

(2) アタッチメントの発達

(3) 発達理論 エリクソンとピアジェ

(4) 子どもの発達のマイルストーン

(5) 子どもの性的発達

(6) 幼児期の子どもがうそをつくという問題について



2日目 10月11日(土)10時30分～18時30分

【目的】 幼児期における CAP プログラムの全体像を知る。

幼児期における CAP のおとなワークショップの重要性を知り、そのために必要な知識やスキルを得る。

プログラム提供の過程のなかで活動における信頼を高め、関係を築くことの重要性を知る。

幼児期における子どもワークショップのための知識とスキルを持ち、実践練習を重ねる。

簡単な復習

アクティビティ

【講義 4】 幼児期の子どもに対する防止教育

【講義 5】 幼児期における CAP プログラムの3つのアプローチ

【講義 6】 幼児期におけるおとなワークショップ

-CAP プログラムの3つの要素のうちの最初の2つ-

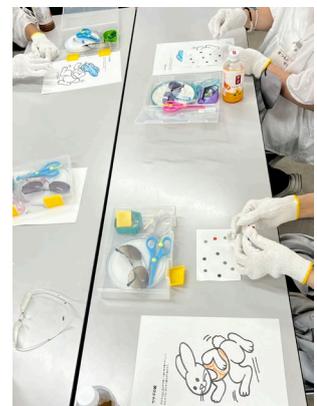
【講義 7】 子どもワークショップ1

(1) 子どもワークショップのカリキュラムの概観

(2) 子どもワークショップの実演

【講義 8-1】 子どもワークショップ 2

(1) 第1日目 子どもワークショップ実習



3日目 10月12日(日)9時30分～17時30分

【目的】 幼児期における子どもワークショップのための知識とスキルを持ち、実践練習を重ねる。

プログラム提供の過程のなかで活動における信頼を高め、関係を築くことの重要性を知る。

幼児期の子どもたちの発達を理解したうえで実施する子どもワークショップ・トークタイムを有効性の高いものにするための知識とスキルを持つ

質問

【講義 8-2】 子どもワークショップ2

(2) 第2・3日目 子どもワークショップ実習

【講義 9】 トークタイム／危機介入

(1) 幼児期の子どもに対するトークタイムのやり方

(2) 危機介入のガイドライン(問題と打ち明けの事例)

(3) CAP プログラムを日常生活に活かすための園との協働

(4) 通告等のシステム・制度と法律の最新情報

【講義 10】 幼児期における CAP プログラムの実践にむけて

・振り返りと質問

クロージングサークル

